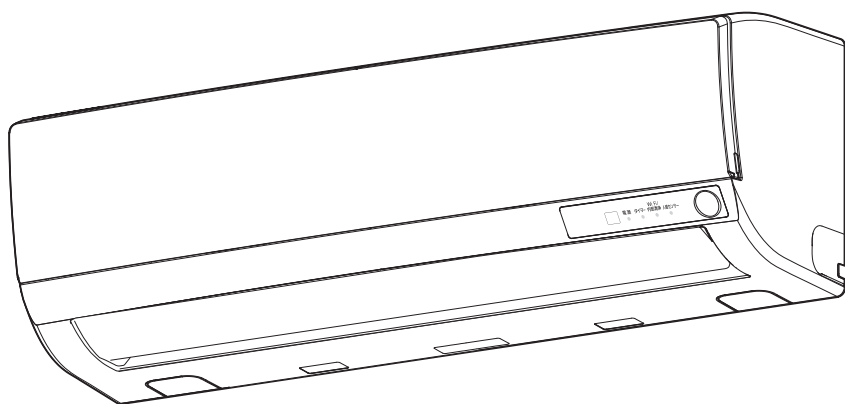


ルームエアコン

IRW-2221A／IRA-2204W
IRA-2804W

取扱説明書

室外機：IUW-2221／IRA-2204RZ
IRA-2804RZ



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。
ます。

- この取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ず読んでください。
- この取扱説明書は使用する方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	5
リモコンについて	5
各部の名称	6

取り扱いかた

使いかた	9
お手入れ	13

こんなときには

故障かな？と思ったら	15
長期使用製品について	17
仕様	18
保証とアフターサービス	19

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードについて



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良
になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実
に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は必ずルームエアコン専用のコン
セントに接続する
他と共用のコンセントや古いコンセント
は使用しないでください。火災・感電の原
因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをし
ない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。
電源コードは、必ずのびして使用してくだ
さい。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、
コンセントの差し込みがゆるいときは
使わない
ショートによる火災・感電の原因になりま
す。電源コードが破損したときは、アイリ
スコールへお問い合わせください。
- 電源コードを傷付けない
- 電源コードをステーブルなどで固定し
ない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ
張る、ねじる、重い物を載せる、挟み込む
などしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因に
なります。
- 延長コードは使用しない
- 電源コードを抜いてエアコンを停止し
ない
火災・感電の原因になります。

設置について



- 設置・移設はお買い上げの販売店また
は設置専門業者に依頼する
自分で行うと、火災・破裂・感電・けが・
水もれの原因になります。
- アース工事は販売店または専門業者に
依頼する
アースが不完全だと、感電の原因になりま
す。
- 室内機の配管取り出し口が、移設など
で開いてしまったときは、開口部をふ
さぐ
内部の回路に触れると、感電・けが・やけ
どのおそれがあります。
- アース線は、ガス管や水道管、電話線
や避雷針のアース線には絶対に接続し
ない
爆発・火災の原因になります。
- 指定の冷媒（R32）以外は使用禁止
本製品はR32専用です。他の冷媒とまざ
ると有害な不純物が発生する可能性があ
ります。

異常時には



プラグを抜く

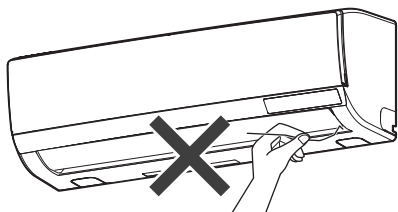
- 直ちに使用を中止し、電源プラグをコ
ンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
 - ・ 内部に水・異物などが入った
 - ・ 異常な音やにおいがする
 - ・ 変形したり、ひび割れしたりしている
 - ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くな
る
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしな
かったりする
 - ・ 触れるとピリピリ電気を感じる➡使用を中止し、お買い上げの販売店または
アイリスコールへお問い合わせください。

禁止事項



- 吹き出し口・吸気口・すき間から物や手を入れない

内部には高速回転するファンや高電圧部があるので、感電やけがの原因になります。



水ぬれ禁止

- 室内機本体を水につけたり、本体に水をかけない

火災・感電の原因になります。



- 内部の洗浄は自分で行わないでください。

誤った方法で内部の洗浄を行うと、破損して火災や感電の原因になります。エアコン内部の洗浄は専門の業者に依頼してください。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

リモコンの電池についての注意



- 電池を入れるときは、極性表示（プラス+とマイナス-の向き）に注意し、説明書の通りに正しく入れる

間違えると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。

- 長期間使用しないときは電池を取り出しておく

液がもれて、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。

液がもれた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。



分解禁止

- 分解しない

皮膚や衣服を損傷することがあります。



- 金属製の小物類と一緒に携帯・保管しない

ショートして液もれや破裂の原因になることがあります。

- 指定以外の電池は使用しない

過熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になることがあります。

- 乾電池は絶対に充電しない

破裂・液もれにより、火災・けが・やけどの原因になります。

室内機について



- 室内機の下に他の電気製品や家財を置かない

水滴が落ちることがあり、汚損や故障の原因になります。

- 室内機の上に物を載せない

- 室内機に洗濯物などをかけない

落下して、けがや火災の原因になります。また、風の流れをふさぐと、過熱して火災の原因になります。

- 吹き出し口・吸気口を布や紙、ビニール袋でおおったりふさいだりして運転しない

- 風の流れをさえぎるようなものを周囲に置かない

過熱して火災の原因になります。

お手入れについて



- 前面パネルやエアフィルターを水洗いしたときは、水気を拭き取って、よく乾かしてから取り付ける

水気が残っていると感電の原因になります。



- お手入れのときは、不安定な台に乗らない

転倒してけがの原因になります。

- 室内機内部の金属部に触れない

けがをするおそれがあります。

安全上の注意 つづき

使用上の注意



- 食品・医薬品・美術品・学術資料の保存など、業務・特殊用途に使用しない
本製品は家庭用として設計されています。業務・特殊用途に使用すると、保存品の劣化の原因になります。

- 長時間冷風を身体に当てない

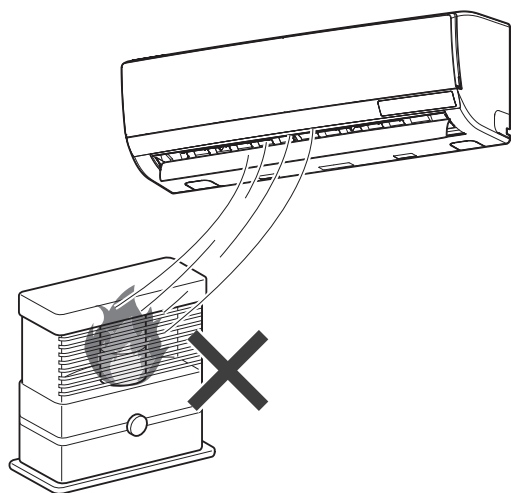
- 冷房温度を下げすぎない

特に、小さなお子様やお年寄りには注意してください。体調が悪化したり健康を害する原因になります。

- 動植物に直接風を当てない

害を与えるおそれがあります。

- 風をストーブなどの燃焼器具に向けない
不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。



- 煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しない

エアコン内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて、健康を害するおそれがあります。
殺虫剤の使用後は、十分換気してから運転してください。

- 床にワックスがけをするときは運転しない

エアコン内部にワックス成分が付着し、水もれの原因になります。ワックスがけの後には、十分に換気してから運転してください。



- 燃焼器具と一緒に使う場合は換気する
一酸化炭素中毒の原因になります。

※ 本製品は、一酸化炭素などの有害物質を除去するものではありません。

ドレン水について



- ドレン水が確実に排水されていることを確認する

水もれして周囲を汚損する原因になります。

特に、冷房シーズンの始まりには注意してください。ドレンホース（排水管）の勾配が適切に付いていなかったり、詰まっていたりすると水もれの原因になります。

電源プラグ・電源コードについて



- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

絶縁低下により、火災・感電の原因になります。

- お手入れするときは、必ず運転を停止して、電源プラグを抜く

けがの原因になります。

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

異常時は



- エアコンを運転しても冷えない・暖まらないときは、販売店または修理専門業者に相談する

冷媒がもれているおそれがあります。冷媒自体は無害ですが、室内にもれて、他のガスと混合したり、火気に触れたりすると、有害な成分が発生する原因になります。

室外機について



- 1年に1度は、室外機の設置台などが傷んでいないか確認する

落下・転倒によるけがの原因になります。



- 上に乗ったり、物を載せたりしない

落下・転倒によるけがの原因になります。

- 室外機をシートなどでおおったり、周囲に物を置いたりしない

過熱して火災の原因になります。

- 室外機の周囲にごみや落ち葉をためない

小動物が侵入し、漏電や火災の原因になります。

使用上の注意

- 暖房運転時は、室外機に霜が付くのを防止するために、自動で霜取りを行います。
霜取り運転中は、暖房が停止し、室内機から冷風が出ることがあります。霜が溶けるときに、室外機から湯気や水が発生することがあります。

- 落雷のおそれのあるときは、運転を停止し、電源プラグを抜いてください。
被雷すると故障の原因になります。

廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

冷媒に関する注意



この家庭用エアコンには、GWP（地球温暖化係数）が675のフロン類（R32）が封入されています。フロン類が排出されると地球温暖化が進みます。移設・修理・廃棄するときは、フロン類の回収が必要です。
フロン類に関するお問い合わせは、アイリスコールへお願いいたします。

リモコンについて

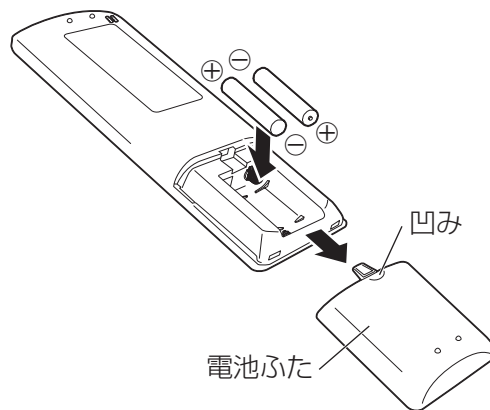
リモコンの表示部に□マークが点灯、もしくは点滅したときは、早めに電池を交換してください。（→P8）

■電池の交換方法

新しい電池（単4形乾電池×2本）を用意し交換してください。

電池ふたを開け、電池を入れ替える

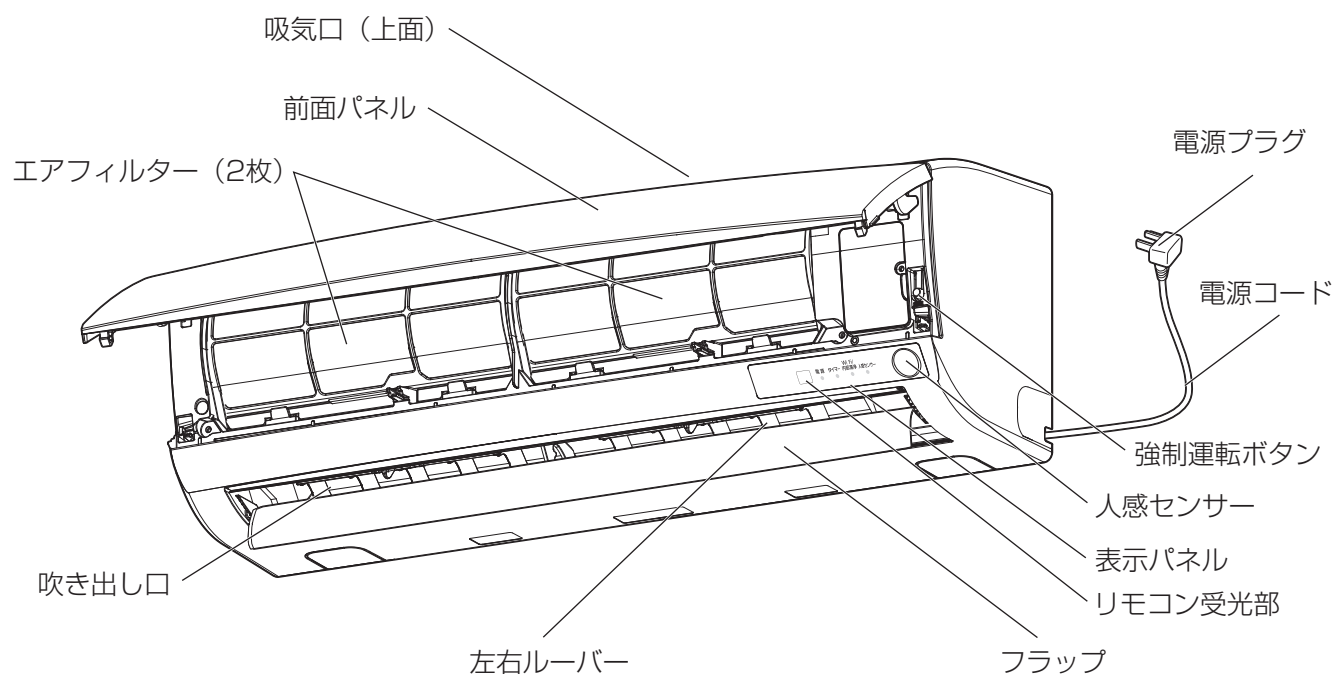
1. 電池ふたの凹みを押さえながら下にずらして開けます。
2. 古い電池を取り出し、⊕と⊖の向きを合わせて、新しい電池を入れます。
3. 電池ふたをしっかりと閉めてください。



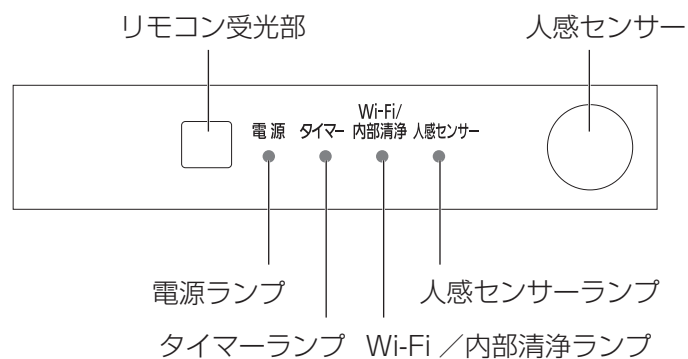
- 電池を誤って取り扱うと、破裂・液もれ・やけど・周囲の汚損の原因になります。3ページ「リモコンの電池についての注意」をよく読んで使用してください。

各部の名称

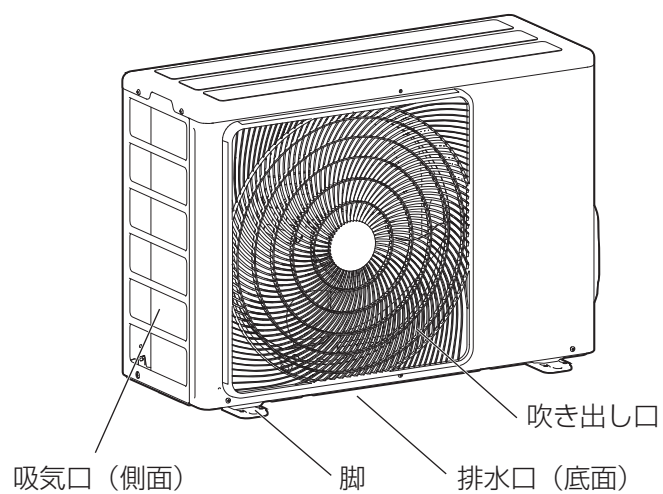
■室内機



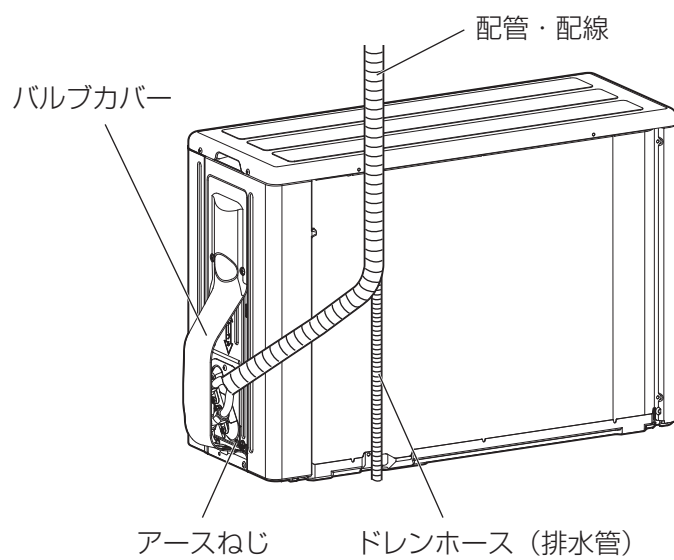
■表示パネル（室内機）



■ 室外機正面



■ 室外機背面



各部の名称 つづき

リモコン

赤外線発光部

室内機表示パネルのリモコン受光部に向けて操作してください。

運転モードボタン

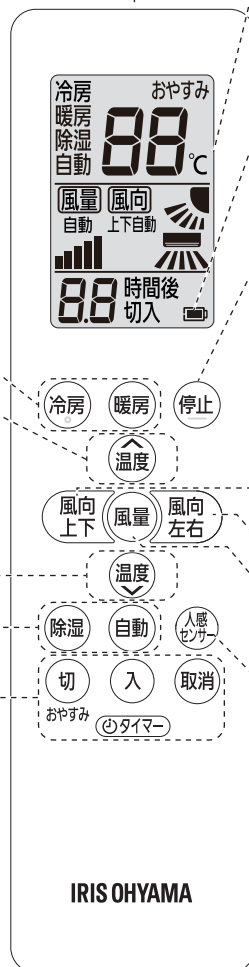
ボタンを押すと、選んだモードで運転が始まります。運転中に押すと、選んだモードに切り替わって運転します。(→P9)

温度 $\wedge$ $\vee$ ボタン

運転中に設定温度を変更します。
16～30℃の範囲で設定できます。
(→P9)

タイマーボタン

切 (おやすみ) ボタンを押すごとに、おやすみタイマーの設定時間が1時間増加し、おやすみタイマーがスタートします。おやすみタイマー設定中は1時間ごとに設定温度が1℃ずつ変わります。(→P11)
入 ボタンを押すごとに設定時間が1時間増加し、入タイマーがスタートします。**取消** ボタンを押すとタイマーは取り消されます。(→P12)



表示部

運転中に、運転の状態や設定温度・タイマー設定時間などを表示します。

電池残量表示

□マークが点灯、もしくは点滅したときは、早めに交換してください。(→P5)

停止ボタン

運転中に押すと、運転が停止します。(→P9)

風向上下ボタン

運転中にボタンを押すたびにフラップの角度が変わります。**風向自動**にすると、運転モードの違いや部屋の温度により、自動でフラップの角度を調節します。(→P10)
運転を停止するとフラップは閉じます。

風向左右ボタン

運転中にボタンを押すたびに左右ルーバーの角度が変わります。スイングにすると、左右ルーバーが動いて左右にまんべんなく風を送ります。(→P10)

風量ボタン

冷房または暖房運転中に押すと、風量が切り替わります。(→P9)

人感センサーボタン

人感センサー運転の入/切をします。(→P10)

使いかた

注意 ●エアフィルターが確実に取り付けられていることを確認してください。

ほとんどの操作はリモコンで行います。

- ・リモコンの赤外線発光部を、本体正面のリモコン受光部に向けて操作してください。

※角度や距離によっては信号が受信できないことがあります。できるだけリモコン受光部正面から、受信できる距離で操作してください。(正面で約5m以内)

■ 運転する

自動・冷房・暖房・除湿、いずれかの運転モードボタンを押す



- ・室内機の電源ランプが点灯し、フラップが開いて、選んだモードで運転が始まります。

電源



- ・運転中に他のモードボタンを押すと、モードが切り替わって運転します。

自動

- ・リモコンの表示部に**自動**と表示され、温度を検知して、設定した温度を目標に、自動で冷暖房と風量を切り替えて運転します。(風量設定はできません。)

冷房

- ・リモコンの表示部に**冷房**と表示され、設定した温度を目標に冷房運転します。
- ・温度設定・風量設定ができます。
- ・**風量**ボタンで**風量自動**に設定した場合、検知した温度によって風量を自動で切り替えて運転します。

暖房

- ・リモコンの表示部に**暖房**と表示され、設定した温度を目標に暖房運転します。
 - ・温度設定・風量設定ができます。
 - ・**風量**ボタンで**風量自動**に設定した場合、検知した温度によって風量を自動で切り替えて運転します。
- ※暖房運転時は、室内機・室外機の運転音が大きくなることがあります。
- ※暖房運転時は、室外機に霜が付くのを防止するために、自動で霜取りを行います。霜取り運転中は、暖房が停止します。

除湿

- ・リモコンの表示部に**除湿**と表示され、自動で風量を切り替えて、除湿運転します。(手動で風量設定はできません。)
- ・除湿優先運転となります。リモコン上では温度表示が動くことがありますが、温度設定はできません。
- ・除湿運転では、部屋を暖めることはできません。

■ 運転を停止するには

停止ボタンを押す



- ・室内機の電源ランプが消灯し、フラップが閉じて、運転が停止します。

電源



■ 温度設定

温度 $\wedge$ / $\vee$ ボタンで変更する



- ・運転中に、**温度** $\wedge$ / $\vee$ ボタンを押すと、リモコンの表示部の温度表示が変わり、設定温度が変更されます。**16 ~ 30℃**の範囲で設定できます。

22℃

※除湿運転中は温度設定はできません。

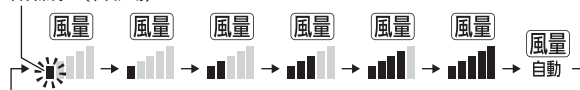
■ 風量設定

風量ボタンで変更する



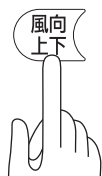
- ・冷房または暖房運転中に、**風量**ボタンを押すたびに、リモコンの表示部の風量の表示が変わり、風量が切り替わります。

点滅 (微風)

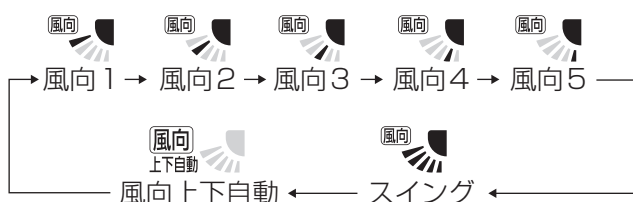


■ 風向調節（上下）

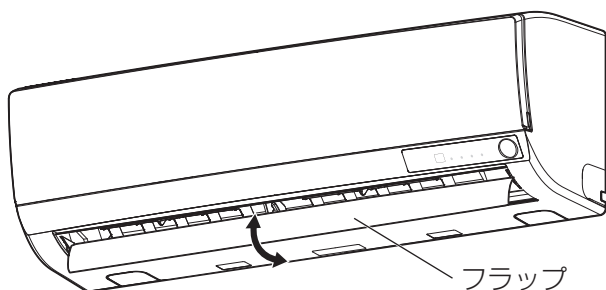
風向上下ボタンで変更する



- ・運転中に風向上下ボタンを押すと、リモコンの表示部が次のように切り替わり、フラップの角度を変更できます。



- ・スイングにすると、フラップが上下にスイングして、まんべんなく風を送ります。
- ・風向上下自動にすると、運転モードの違いや部屋の温度により、自動でフラップの角度を調節します。



注意

- 室内機内部の金属部に触らないでください。
けがをするおそれがあります。

■ 風向調節（左右）

風向左右ボタンで変更する

- ・運転中に風向左右ボタンを押すと、リモコンの表示部が次のように切り替わり、左右ルーバーの角度を変更できます。



- ・スイング中にもう一度風向左右ボタンを押すと、お好みの位置でルーバーは止まります。



■ 人感センサー運転

人感センサー運転にするには、人感センサーボタンを押す



- ・室内機の人感センサーランプが点灯します。

人感センサー



- ・人感センサー運転中は、30分間人の動きを検知しないと、冷暖房の能力を落とした状態で運転します。
- ・2時間人の動きを検知しないと、さらに冷暖房の能力を落として運転します。
- ・センサーの範囲に人の動きを検知すると、通常の冷暖房運転をします。

人感センサー運転を終了するには、再度人感センサーボタンを押す



- ・室内機の人感センサーランプが消灯します。
- ※ 人感センサー運転中に運転を停止した場合、次に運転をしたときは人感センサー運転になりません。
- ※ 除湿モードで運転中は、人感センサー運転になりません。また、除湿モードに切り替えると、人感センサーはキャンセルされます。

■タイマー

おやすみタイマー

おやすみタイマー設定中、冷房時は徐々に温度を上げ、暖房時は徐々に温度を下げて、急激な温度変化をなくし、快眠をサポートする機能です。

おやすみタイマーは**切（おやすみ）** ボタンを押して設定する



- ・ **切（おやすみ）** ボタンを押すたびに、リモコンの表示部に時間が表示され、点滅します。その後、**切**だけ表示部に表示され、タイマーがスタートします。

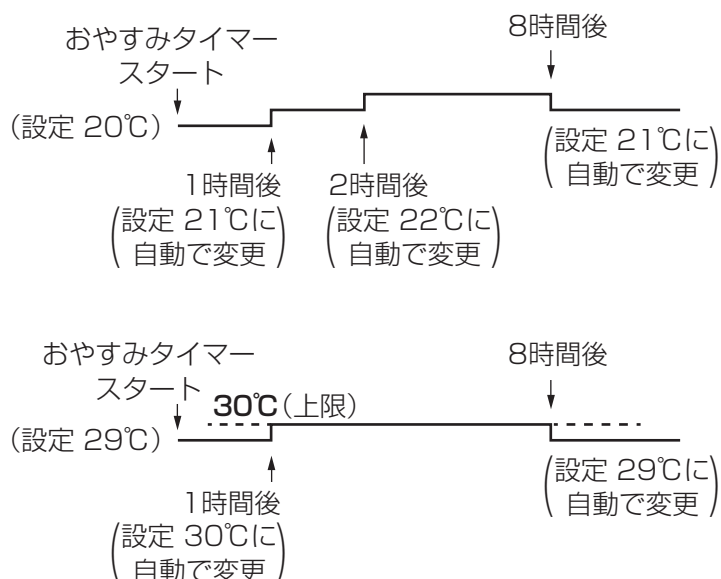


- ・ 設定時間が経過すると、室内機の**電源ランプ**が消灯し、フラップが閉じて、運転が停止します。
- ・ おやすみタイマーは、1時間単位で24時間まで設定できます。
- ・ リモコンの表示部に**おやすみ**が点灯します。

冷房運転の場合

- ・ 冷房運転中におやすみタイマーを設定すると、風量は自動になり、1時間ごとに1℃設定温度を上げて運転します。（最高30℃まで）

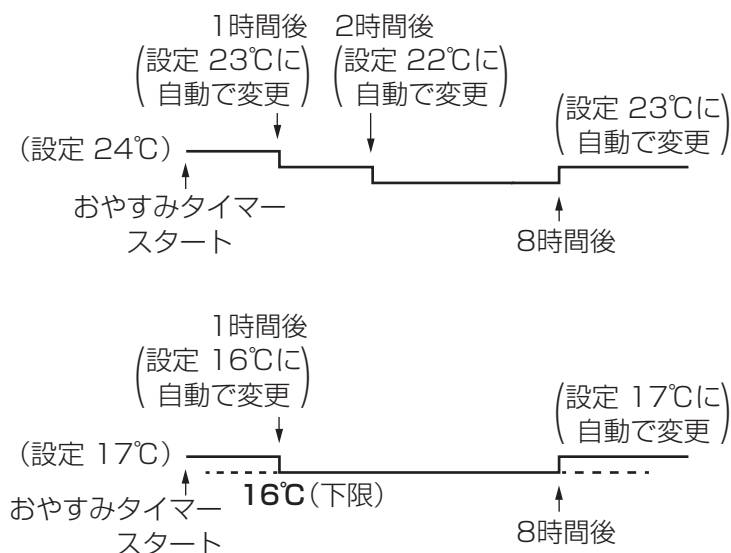
例（冷房運転）



暖房運転の場合

- ・ 暖房運転中におやすみタイマーを設定すると、風量は自動になり、1時間ごとに1℃設定温度を下げて運転します。（最低16℃まで）

例（暖房運転）



入タイマー

入タイマーは入ボタンを押して設定する



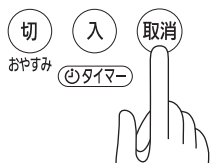
- 入ボタンを押すたびに、リモコンの表示部に時間が表示され、点滅します。その後、入だけ表示部に表示され、タイマーがスタートします。

12 時間後
入

- 設定時間が経過すると、室内機の電源ランプが点灯し、フラップが開いて、運転が始まります。
- 入タイマーは、1時間単位で24時間まで設定できます。
- タイマー動作中は、室内機のタイマーランプが点灯します。
- おやすみタイマーと入タイマーは、同時に設定できません。

タイマーを取り消すには、取消ボタンを押す

- 設定されていたタイマーはキャンセルされ、タイマーランプは消灯します。



内部清浄機能

内部をきれいな状態に保つための機能です。

冷房または除湿を10分以上運転した後に停止すると、内部清浄が始まる

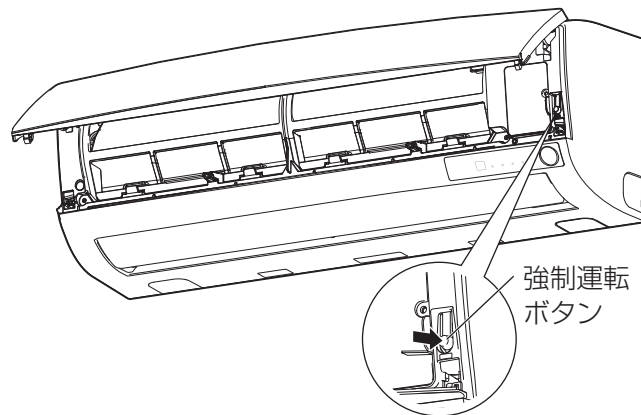


- 室内機の内部清浄ランプが点灯します。
 - 室外機と室内機は風量を低速にして10分間運転した後、内部清浄は停止します。
- ※ 暖房または自動運転の停止後は、一旦冷房または除湿運転にしないと内部清浄機能は動作しません。

強制運転

リモコンで操作できないときに、強制的に運転させる機能です。

- 室内機の前面カバーを開け、強制運転ボタンを押します。ボタンを押すたびに以下のように切り替わり、強制運転します。



→ 強制運転 → 強制運転 → 停止
(自動) (冷房)

- 設定温度は24℃になります。

モバイル端末用アプリによる運転操作

本製品は無線LANに接続することにより、モバイル端末用アプリで操作することができます。詳細は別冊の取扱説明書をごらんください。

音声による運転操作

本製品は音声（Google Home や Amazon Alexa などのスマートスピーカー）で操作することができます。

詳細は別冊の取扱説明書をごらんください。

お手入れ



- 内部の洗浄は自分で行わないでください。誤った方法で内部の洗浄を行うと、破損して火災や感電の原因になります。エアコン内部の洗浄は専門の業者に依頼してください。



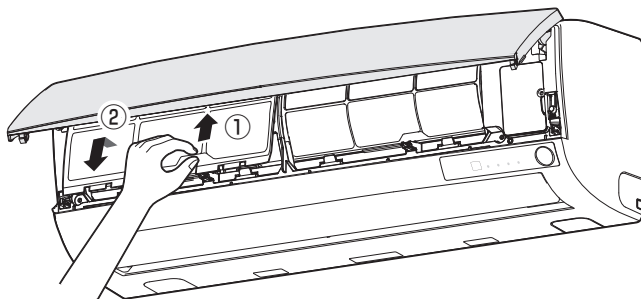
- お手入れのときは、不安定な台に乗らないでください。
- エアフィルター・前面パネルを水洗いしたときは、十分に乾かしてから取り付けてください。
- 室内機内部の金属部に触らないでください。

- シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

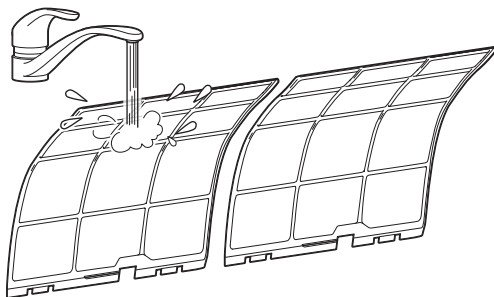
■エアフィルター 2週間に1回程度

1 前面パネルを開け、エアフィルターを外す

- ・前面パネルを、カクツとなって止まるまで開けてください。
- ・エアフィルター下部中央のつまみを持ち上げてから (①)、手前に引いて取り外してください (②)。



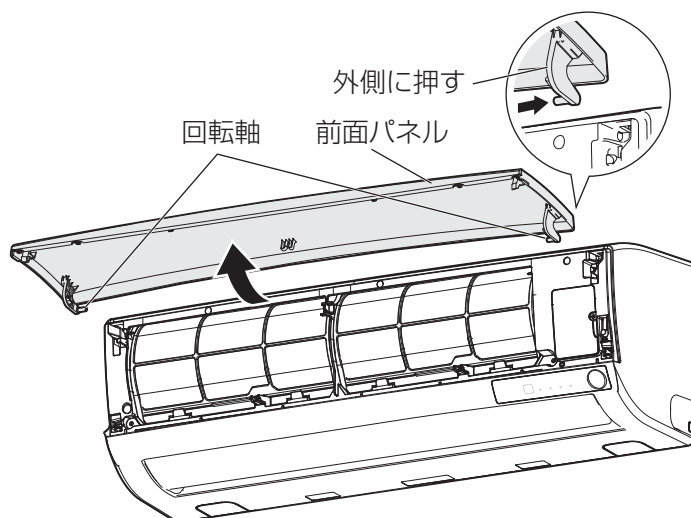
2 ほこりを掃除機などで吸い取るか、水洗いする



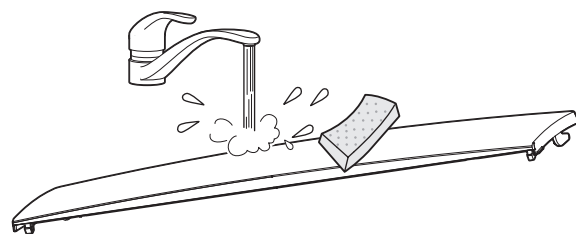
※水洗いした後は、よく乾かしてから取り付けてください。

■前面パネル

1 前面パネルを水平になるまで開け、回転軸を外側に押しながら、手前に引いて取り外す



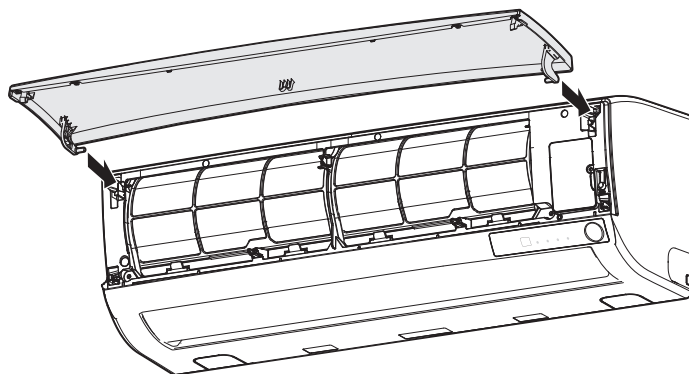
2 柔らかいスポンジなどで水洗いする



- ・汚れが落ちにくいときは、台所用中性洗剤で洗い、水でよく流し、よく乾かしてください。

前面パネルの取り付け方

前面パネルを水平にして、左右の回転軸を室内機両端の軸の溝に合わせて、押し込む

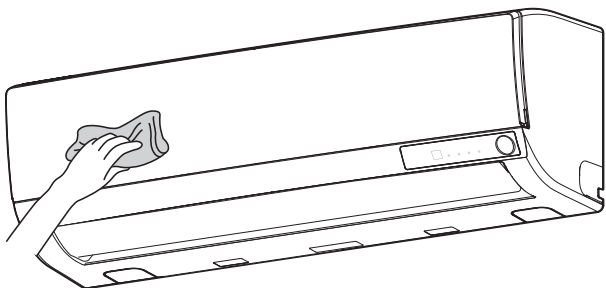


お手入れ つづき

■室内機表面

水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませた柔らかい布をよく絞って、汚れを拭き取る

※ 汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、固く絞った布などで洗剤分を拭き取ってください。



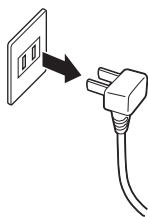
- 水をかけないでください。感電・けが・故障の原因になります。
- 化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きにしたがってください。

■長期間使用しないときは

1 内部を乾燥させる

- ・ 設定温度**30℃**、風量 、風向上下 （スイング）で、3～4時間**冷房**運転を行い、内部を乾燥させてください。

2 運転を停止し、電源プラグを抜く



3 エアフィルターのお手入れをする

- ・ 13ページを参照してお手入れしてください。

4 リモコンの乾電池を抜く

■再び使い始めるときは

1 エアフィルターが取り付けられていることを確認する

2 エアコンの周囲がふさがれていないか確認する

3 リモコンに乾電池を入れる

4 電源プラグをコンセントに接続する

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
電源が入らない	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	●ブレーカーが切れている	●エアコンの回路のブレーカーを入にしてください。
風が止まる	●暖房運転中、室外機の自動霜取りが働くと、温風が停止する	●自動霜取りが終了すると、運転が再開します。
	●自動または冷房・暖房モードで風量自動モードで運転中、設定温度に達すると運転を停止する	●温度調節をしています。故障ではありません。
暖房なのに冷たい風が出る	●暖房運転時、室外機が自動霜取りをすると冷たい風が出ることがある	●故障ではありません。自動霜取りが終了すると、暖房運転に戻ります。
リモコンで操作できない	●リモコンの赤外線発光部を、室内機のリモコン受光部に向けていない	●5m以内の距離で、リモコンの赤外線発光部を、室内機のリモコン受光部に向けて、できるだけリモコン受光部の正面から操作してください。
	●リモコンの電池が消耗している	●電池をすべて新しいものに交換してください。
	●電池の向きが合っていない	●電池を正しい向きにセットしてください。
	●リモコンと受光部の間に障害物がある	●障害物を取り除いてください。
	●内部清掃している	●内部清掃中は、内部清掃を停止しないと、他の操作はできません。(→P12)
風量の変更できない	●自動または除湿モードで運転している	●自動または除湿モードでは、風量は自動でコントロールされます。
風量が弱い	●自動または冷房・暖房モードを風量自動で運転中、部屋の温度が設定温度に近づいた	●自動または冷房・暖房モードを風量自動で運転中、部屋の温度が設定温度に近づくと、風量は低速になります。
	●エアフィルターにほこりなどが詰まっている	●エアフィルターをお手入れしてください。(→P13)
フラップが全閉しない	●手でフラップを動かすと、停止したときに、フラップが全閉しないことがある	●次回運転後、停止時にはフラップは全閉します。

故障かな？と思ったら つづき

室内機から霧が出る 室内機に水滴が付く	●湿度の高い空気が急に冷やされると、霧が出たり、水滴が付いたりする	●故障ではありません。 雨の日など、湿度が高いときに冷房する場合は、窓やドアを開けっ放しにしないでください。
室外機から湯気や水が出る	●暖房運転時、室外機が自動霜取りをすると湯気や水が発生することがある	●故障ではありません。
「ポコポコ」という音がする	●ドレンホースの水が逆流する	●部屋の内外の気圧差が大きいと、水が逆流することがあります。窓を少し開けて気圧差を減らすか、ドレンホースに逆流防止弁を取り付けるとなることがあります。
「プシュッ」という音がする	●運転の停止や切り替え時に、冷媒の流れが切り替わる	●故障ではありません。
「ビシッ」「パキッ」という音がする	●温度変化で樹脂部分が伸び縮みしている	●故障ではありません。
風がおう	●エアコンの運転中にたまったおいを吹き出している	●定期的に内部清浄機能を動作させてください。(→P12) ●内部清浄機能でにおいなどが取りきれない場合は、業者に洗浄を依頼してください。
部屋が冷えない・暖まらない	●部屋が面積の目安より広すぎる	●仕切りをして部屋を区切るなど、面積の目安内で使用してください。(→P18「仕様」)
	●窓やドアが開けっ放しになっている	●窓やドアを閉めて使用してください。
設定温度が変わる	●おやすみタイマーを設定している	●おやすみタイマー設定中は、設定温度が徐々に変わります。(→P11)
音声、アプリで操作ができない	●ネットワークの障害が発生している	●復旧するまでリモコンで操作をしてください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●自分で分解・修理・改造しないでください。

長期使用製品について

長期間の使用により以下のような症状が見られた場合は、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

- 通常使用時に室内機から水がもれる
- 電源コードが折れ曲がったり、破損したりしている
- 据付に問題がなく、リモコンに新しい電池を入れても、リモコンで操作ができない
- 電源コードに触れると電源が切れたり入ったりする
- ブレーカーがひんぱんに切れる
- 焦げたようなにおいがする



使用中止

すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

■ 設計上の標準使用期間について

JIS基準に基づく標準的な使用条件下で使用した場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間を、製品本体に表示してあります。無料修理を行う保証期間とは異なります。

		冷房	暖房
環境条件	電源電圧	単相100V	
	周波数	50 / 60Hz	
	温度（室内）	27℃（乾球温度）	20℃（乾球温度）
	湿度（室内）	47%（湿球温度：19℃）	59%（湿球温度：15℃）
	温度（室外）	35℃（乾球温度）	7℃（乾球温度）
	湿度（室外）	40%（湿球温度：24℃）	87%（湿球温度：6℃）
	設置条件	据付工事説明書による標準的な設置	
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間	
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋	
想定時間	1年間の使用日数（東京モデル）	6月2日から9月21日までの 112日間	10月28日から翌年4月14日までの 169日間
	1日の使用時間	9時間／日	7時間／日
	1年間の使用時間	1,008時間	1,183時間



注意

製品の劣化や故障は様々な要因に影響されます。表記の標準使用期間に満たないときでも、上記のような異常が見られたときには、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

仕様

品番	室内機		IRW-2221A	IRA-2204W	IRA-2804W
	室外機		IUW-2221	IRA-2204R	IRA-2804RZ
電源			単相100V、50 / 60Hz		
電源プラグ形状			㊦		
冷房	定格能力		2.2 (0.7 ~ 3.1) kW		2.8 (0.7 ~ 3.4) kW
	消費電力		530 (130 ~ 800) W		710 (120 ~ 970) W
	運転電流		6.24A		7.47A
	運転音 (音響 パワーレベル)	室内機	57dB		58dB
		室外機	57dB		58dB
	面積の目安	鉄筋アパート 南向き洋室	15㎡ (9畳)		19㎡ (12畳)
木造南向き 和室		10㎡ (6畳)		13㎡ (8畳)	
暖房	定格能力 (標準)		2.2 (0.5 ~ 3.9) kW		3.6 (0.5 ~ 4.8) kW
	消費電力 (標準)		445 (110 ~ 1,105) W		865 (110 ~ 1,400) W
	運転電流		5.24 (最大15.0) A		8.92 (最大15.0) A
	運転音 (音響 パワーレベル)	室内機	59dB		60dB
		室外機	57dB		60dB
	面積の目安	鉄筋アパート 南向き洋室	10㎡ (6畳)		16㎡ (10畳)
木造南向き 和室		8㎡ (5畳)		13㎡ (8畳)	
通年エネルギー消費効率 (JIS C 9612 : 2013)			5.8		5.8
区分名			A		A
外形寸法		室内機	幅795×奥行230×高さ250mm		幅795×奥行230×高さ250mm
		室外機	幅660×奥行240×高さ530mm		幅780×奥行290×高さ550mm
質量		室内機	9kg		9.5kg
		室外機	22.5kg		29.5kg

※ 待機中もマイコンを動かせるため、0.7Wの電力を消費します。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

※ J-Moss (JIS C 0950 : 2008) の規定に基づき、対象となる6物質 (鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB・PBDE) の含有について情報を公開しています。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.irisohyama.co.jp/safetyinfo/importanttopics/j-moss.html>

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、9年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

※ Wi-Fiは、Wi-Fiアライアンスの登録商標または商標です。

※ Google、Android、Google Play、Google Home、Google アシスタント およびその他の関連するマークとロゴは Google LLC の商標または登録商標です。

※ Amazon、Amazon.co.jp、Echo、Alexaおよびそれらのロゴは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標または登録商標です。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohtyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ(通話料無料)

アイリスコール 0800-919-0770

9:00~17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

お客様サポート

24時間365日

Web即時回答サービス



据付工事

※前面パネルは外さないで据付作業を行ってください。

1 穴あけ・据付板固定

- ・「穴あけ寸法図」にしたがって穴を開けます。
- ・据付板は、ねじ固定推奨位置など、4か所以上ねじで固定してください。

■ 据付板を壁に直付けする場合

- ①据付板は、最上部両端と下部の引っ掛け部付近を、必ずねじで固定してください。
- ②「穴あけ寸法図」にしたがって、据付板の回りは間隔を空け、壁内の構造材をさがして水平に取り付けます。（4か所以上をねじで固定してください。）
- ③据付板の上に水準器を載せて、水平を確認します。
- ④埋込ボルトを利用するときは、右図のように埋込ボルト用穴を利用して固定します。（埋込ボルトの出張り寸法は15mm以下にしてください。）

■ 回り縁と鴨居を利用する場合

据付機（市販品）を使用する

2 電気工事

- ・電源はルームエアコン専用とし、エアコン専用コンセントを電源コードの届くところに据付してください。
- ・コンセントは新しいものを使用してください。
- ・プラグの交換や延長などの電源コード改造や、延長コードの使用は絶対にしないでください。故障や火災の原因になります。
- ・電源コードをビニールテープなどで巻いて収納しないでください。
- ・電源電圧を必ず確認してください。

IR-R-2221C／IRA-2221G／IRA-2221BR／IRW-2221A／IRA-2204R／IRA-2204W

IRR-2821C／IRA-2821G／IRA-2821BR／IRA-2804R／IRA-2804W

電源	コンセント定格・形状	最大電流	コード長さ
単相100V	15A ㉑	15A	1.3m

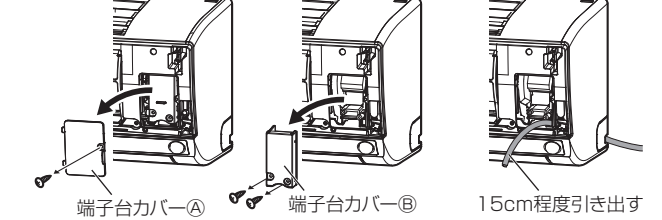
電源	コンセント定格・形状	最大電流	コード長さ
単相100V	20A ㉒	20A	1.3m

- ・電源回路容量に十分余裕のあるように配線工事を行ってください。また、機種と据付場所によっては感電防止のため漏電遮断器の取り付けが法規上必要な場合があります。

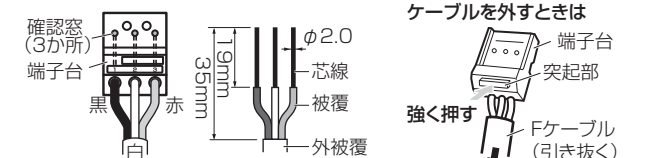
3 接続配線の接続（室内機）

■ 配線のしかた

- ①前面パネルを開け、端子台カバー㉔・端子台カバー㉕を順に外します。



- ②ケーブルを、前面より15cm程度引き出して、先端の皮をむき、端子台に挿入します。
※皮むき時に芯線の被覆を傷つけないでください。
※Fケーブルは、平形ビニール外装ケーブルφ2.0（3芯）を使い、確認窓から芯線が見えるまで差し込んでください。



- ③端子台カバー㉕を元のねじ2本で取り付けます。
- ④端子台カバー㉔を左側のつめを本体内部側に引っ掛けて、元のねじで固定し、前面パネルを閉じます。

4 配管・ドレンホースの成形

- ※スリーブクッションを使用すると、配管作業が楽にできます。

■ ドレンホースの接続

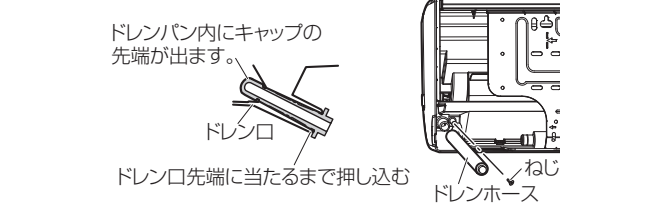
- ・製品のドレンホースの外径はφ16です。延長ドレンホースの内径φ16部分でドレンホースと接続してください。



- ・ドレンホースは必ず下り勾配を設け、確実に排水されるように施工してください。
- ・延長ドレンホースが屋内を通るときは、結露防止のための断熱処理をしてください。
- ・ドレンホース接合部は、抜け防止と漏水防止のため必ずテープを巻いてください。
- ・施工後は、ドレンホース接合部からの漏水がなく、屋外に排水されることを確認してください。

■ 左後取り・左取り・左下取りの場合

- ・ドレンホースとドレンキャップを付け替えます。ドレンホースはねじで固定されています。付け替え後もこのねじで固定してください。ドレンキャップの差し込みは、4mmの六角レンチを使用して、ドレンキャップのツバが、ドレン口先端に当たるまで押し込みます。



- ※配管を曲げるときはポリシン・スプリングバンダーなどを使い、配管をつぶさないように注意してください。
- ※配管・Fケーブル・ドレンホースはふくらみのないようにな下側から化粧テープで巻いてください。
- ※配管接続部の断熱材は10mm程度ラップさせ、隙間が開かないようにテープでシールしてください。
- ※補助配管のスリットは確実にシールしてください。
- ※補助配管の接続口に取り付けてあるナイロンキャップは再使用しないでください。
- ※ポリシンを使用するときは割り粉が入らないよう、必ずフレア加工を行った後に挿入してください。

5 室内ユニットの取り付け

- ①配管を壁穴に通し、据付板に室内機を引っ掛けます。
- ②室内機を左右に動かして、引っ掛かっていることを確かめ、下部を壁側に押しつけます。

※電源コードを収納する場合は配管収納部に収納してください。

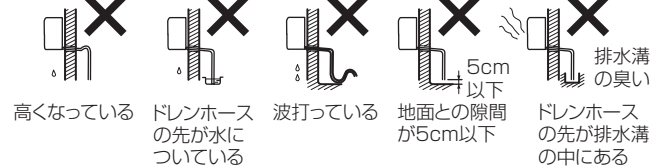


左下・左・左後配管の取り付けについて

- ・室内機と壁の間にスリーブクッションなどを入れて室内ユニットを持ち上げると、配管作業が楽にできます。

ドレン排水について

- ・ドレンホースは必ず下り勾配を付けてください。
- ・次のようなドレン排水は行わないでください。



- ・気密性の高い部屋で換気扇などを使用すると、排水管からボコボコ音が発生する場合があります。このようなときは、必要に応じてルームエアコン用逆止弁を取り付けてください。

6 ドレン排水の確認

取り付け後、ドレン排水の確認を以下の手順で行ってください。

- ①前面パネルを開けてください。
- ②片側のエアフィルターを取り外してください。（右取りの場合は左側のエアフィルター、左取りの場合は右側のエアフィルター）
- ③図に示すように、水差しの先端をフィルター枠の間に挿入し、水差しの先端を熱交換器に当てて、ゆっくりと水を注入してください。



- ④ドレンホースから排水されることを確認してください。
- ⑤確認後、エアフィルターを取り付けてください。（エアフィルター—先端部が奥に突き当たるまで差し込み、外していないエアフィルターと同じ高さにする）
- ⑥前面パネルを閉じてください。

室外機底板には、暖房運転時の除霜水を効率よく排水させるために穴が開いています。ペラント置きや壁面据付時などの集中排水が必要なときは、下記手順に従って排水処理を行ってください。

- ①底板下面にある2個の長穴に付属の防水ゴムキャップを取り付け、防水処理を行います。
- ・防水ゴムキャップに4本の指を入れ、底板下側から排水穴に押し込んで挿入します。
- ・外周部を押し、確実に挿入してください。（不完全な挿入・外周部のめくれ・挟み込みは水漏れの原因になります。）

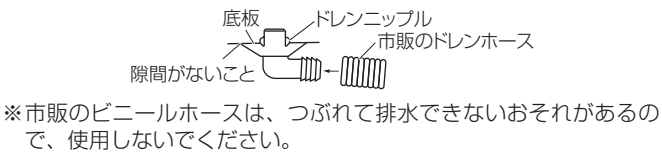
※室外機品番IRA-2204RZ・IU-F-2221・IRA-2221RZ・IUW-2221には防水ゴムキャップは付属せず、この工程は不要です。

- ※手袋などはめて作業してください。
- ※この作業を行っても完全に防水できないときは、コーキング・パテなどのシール材を追加してください。

- ②ドレンニップルを底板の排水口に押し込みながら左右に回転させて取り付けます。取り付け後は、ドレンニップルと底板に隙間がなくなしっかりと取り付けられていることを確認してください。

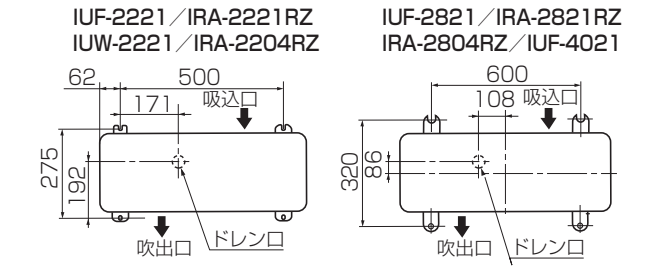
- ③ドレンニップルに市販の「ドレンホース」（内径16mm）を取り付け、排水処理をします。

- ・室外機が水平であることを確認し、接続のドレンホースはたるみなく、下り勾配にします。

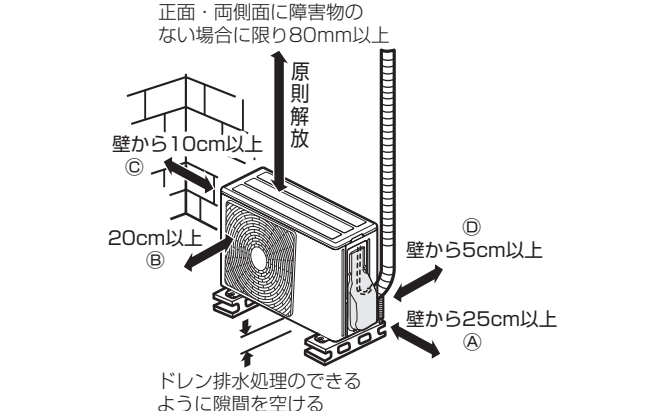


7 室外機の取り付け

確実に固定してください。



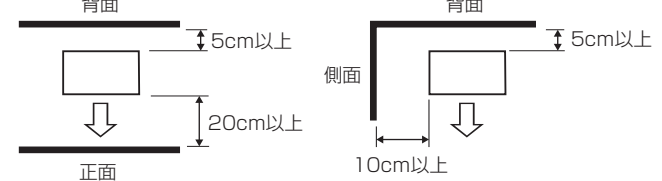
室外機は、周囲に下図の距離を取って据付してください。



- ※室外機の据付は、図の方向㉔、㉕、㉖、㉗のうち少なくとも2方向は開放してください。

- ・室外機周囲が開放された据付場所が選べず、やむを得ず吸込口に壁などの障害物がある場合は下記に従ってください。

ただし、冷暖房能力は10%程度悪化する場合があります。



8 冷媒配管の接続

	液側（外径）	ガス側（外径）
	φ6.35	φ9.52
肉厚	0.8mm	
材料及び規格	リン脱酸鋼 C1220T JIS H 3300（付着油量：40mg／10mm以下）	

■ フレア加工

- ①パイプカッターで配管を切断します。バリは必ず取ってください。（ガス漏れの原因になります。）
- ②フレアナットを配管に挿入後、フレア加工をします。

フレア加工寸法：A（単位：mm）		
銅管外径	6.35	9.52
Aφ	9.1	13.2

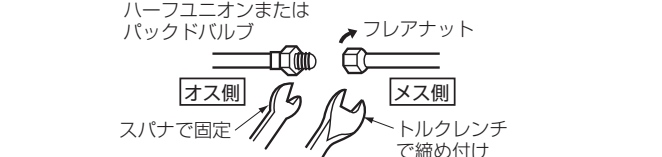
- ※R32・R410A用フレアツールをおすすめしますが、R22用ツールを使用するときは下表の通り銅管の出し代Bを調整すれば使用できます。

フレア加工時の銅管出し代：B（単位：mm）		
R32-R410用フレアツール	R22用フレアツール	
リジッド（クラッチ式）	リジッド（クラッチ式）	
B	0～0.5mm	1.0～1.5mm

- ※作業のポイント
フレア加工（R32-R410A用ツール、リジッド形）するときの銅管出し代Bを、0.5mmにすると、フレア加工寸法が大きくなり、トルクレンチでの締めすぎを防止できます。
- ③フレア加工部に、傷・切粉付着・変形・段差・扁平がないことを確認します。

■ 接続部の締め付け

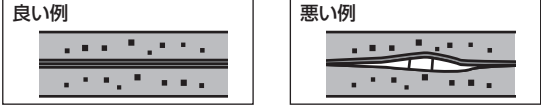
- ・接続配管の中心を合わせ、フレアナットを指先で十分締めた後、図のようにスパナで固定し、トルクレンチで締め付けます。
- ※フレア面への冷凍機油の塗布は行わないでください。



ハーフユニオン接続時	
銅管外径	締め付けトルク
6.35mm	1.4～1.8N・m（1.4～1.8kgf・m）
9.52mm	3.4～4.2N・m（3.5～4.3kgf・m）

■ 配管の断熱方法について

- ・断熱材で配管をしっかりと覆った後にテープ処理をしてください。



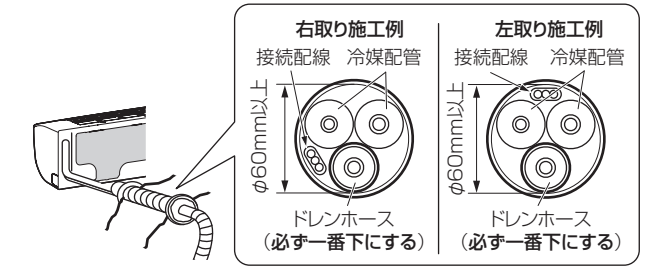
※隙間があると結露して水漏れの原因になります。

フレア配管接続部の締め付けトルク

- 室内機・室外機の各フレア配管接続部は、トルクレンチを使用して、規定の締め付けトルクで確実に締め付けてください。接続に不備があると、ガス漏れだけでなく、回路故障の原因にもなります。



壁穴に通すときの、接続配線・冷媒配管・ドレンホースの推奨配置



- ※壁を貫通させるときは、必ずウォールキャップと貫通スリーブを使用してください。
- ※集合住宅に据付する場合で、配管類が防火区画を貫通するときは、耐火処置として耐火キャップが必要です。
- ※配管接続時に、ごみ・水分・砂・切粉などが配管に入らないようにしてください。
- ※配管接続部の断熱材は10mm程度ラップさせ、隙間が開かないようにテープでシールしてください。

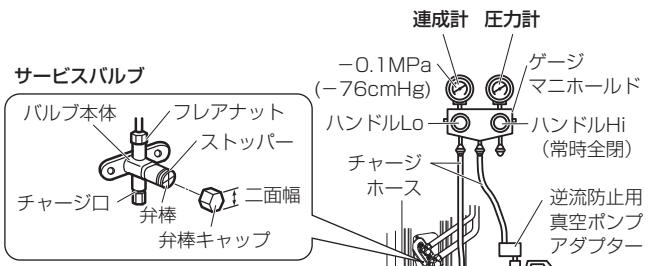
9 エアバージ

- ※エアバージ（接続配管内の空気のパージ）は、地球環境保護の観点から「真空ポンプ方式」でお願いします。
- ※地球環境保護のため、フロンガスを大気中に放出しないでください。
- ※真空ポンプ方式にてセット内の残留空気（窒素など）を排除してください。空気が残留すると能力低下などをまねくことがあります。

操作上の注意

- ・トルクレンチで規定の締め付けトルクで締め付けてください。

	二面幅	締め付けトルク
	H17	
弁締めキャップ	H19	1.4～1.8N・m（1.4～1.8kgf・m）
	H21	
	H22	
	H27	3.3～4.2N・m（3.4～4.3kgf・m）
	H17	1.4～1.8N・m（1.4～1.8kgf・m）



- 図の通り、チャージホースを接続する、マニホールドは全開

- バルブコア（虫ピン）押しの突起が出ている側の接続口を、セットのチャージ口に取り付ける

- ハンドルLo全開

- 真空ポンプを運転し、真空引きをする*1

- ガス側サービスバルブのフレアナットを少しゆるめ、エアが入っていくことを確認する*2

- 真空引きを15分以上行い、連成計が－0.1MPa（－76cmHg）になっていることを確認する*1

- ハンドルLo全開

- 真空ポンプ運転を止める

- 1～2分間そのままの状態にして、連成計の針が戻らないことを確認する

- 液側の弁締めキャップを外して、液側の弁締めを反時計回りに90°開き、5～10秒後に閉じて、配管接続部の冷媒漏れ検査を行う

- サービスバルブの弁締めを全開にする（液側を全開、次にガス側を全開）

- チャージ口よりチャージホースを外す

- サービスバルブとチャージ口のキャップを確実に閉める

- ※1 真空ポンプは、必ず逆流防止機構付きを使用してください。また、真空ポンプ・真空ポンプアダプター及びゲージマニホールドは、使用前に各ツールに付属の取扱説明書を読んで、正しく使用してください。真空ポンプは、油がオイルゲージの指定線まで入っていることを確認してください。

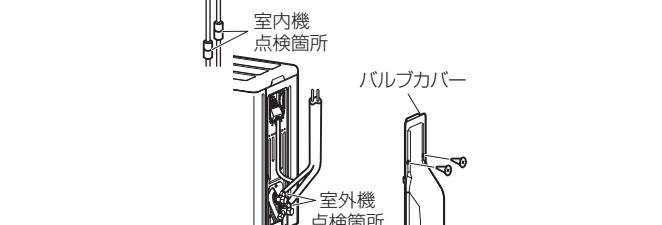
- ※2 エアが入っていないときは、チャージホースのバルブコア押しの突起が出ている側が、チャージ口にしっかりと接続されているか、再確認してください。

接続部から冷媒が漏れるとき

- ※フレアナットが規定トルクで締め付けられているか、再確認してください。規定トルクで締め付けられていても、冷媒が漏れるときは、フレア加工の不具合が考えられます。冷媒回収などによりエアコン内に冷媒が無い状態にし、漏れ箇所を修正した後、再接続して真空引きを行い、規定量の新規冷媒を液冷媒で再充填してください。このとき、規定量以外の冷媒は絶対に入れないでください。

10 ガス漏れ検査

- ・R32には、HFC冷媒（R32・R410A・R134aなど）専用のリークディテクターを使用して、配管接続部のリークテストを確実に実施してください。



11 アース工事

- ・室内機または室外機のどちらか一方のアース端子より接地を行ってください。

■ 室内機からアースを行う場合

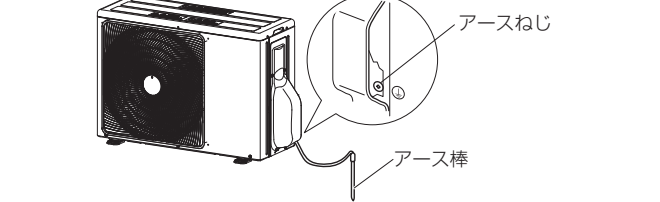
- ・端子台カバー内のアース用ねじに接続してください。



- ※アース線は、同梱されていません。（現地調達：直径1.6mmまたは断面積2mm以上）
- ※アース工事を行うときには、電源プラグを抜いた状態で実施してください。
- ※漏電遮断器が働く場合は、衝撃波不動作形の漏電遮断器に交換してください。
- ※漏電警報器が働く場合は漏電警報器の設定を変更してください。

■ 室外機からアースを行う場合

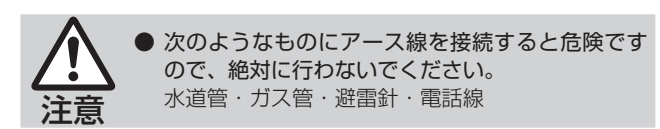
- ・アース棒（別売品）を使用してください。



■ 接地の基準

- このエアコンは、接地の基準に従ってアース工事をしてください。
- ・接地の基準はエアコンの電源電圧および接地場所により異なります。下表により接地工事を行ってください。

エアコン据付場所	接地工事
水気のある場所に据付する場合	漏電遮断機を取り付け、さらにD種接地工事が必要です。注①
湿気のある場所に据付する場合	D種接地工事が必要です。注②
乾燥した場所に据付する場合	D種接地工事は、法的には除外されていますが、安全のため接地工事をしてください。注③

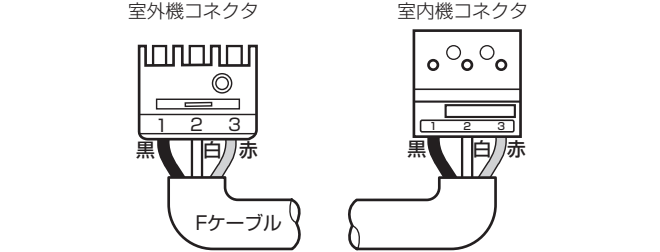


- D種接地工事について（注①）
- ・接地工事は電気工事士の方が行ってください。
- ・接地抵抗は100Ω以下であることを確認してください。ただし漏電遮断器を取り付けた場合は500Ω以下であることを確認してください。

- 乾燥した場所に据付する場合（注②）
- ・接地抵抗は100Ω以下になるようにしてください。最悪でも250Ω以下であることを確認してください。

12 接続配線の接続（室外機）

- ・室内機の配線に合わせて配線します。
- ・サービスバルブカバーをサイドキャビネットにねじ3本でしっかりと固定します。
- ※皮むき時に芯線の被覆を傷つけないでください。



13 試運転

- ①表面の注意書・包装用シール・テープをすべて外してください。
- ②コンセントに電源プラグを差し込みます。
- ③リモコンの「冷房」または「暖房」を押します。
冷房の場合、リモコンで設定温度を16℃にします。
暖房の場合、リモコンで設定温度を30℃にします。
- ・約3分後に室外機が運転を開始し、冷風（暖房の場合は温風）を吹き出します。

- 3分間再起動防止タイマーについて
エアコンを起動するときや運転を切り替えたときは、約3分間運転が始まりません。これは本体保護のためで、故障ではありません。
- ④試運転確認終了後、「停止」を押し、運転を停止します。

14 点検

- ・据付工事完了後、□の中に✓印を入れて確認し、このチェックシートをお客様にお渡しください。

- 据付場所は、エアコンの重量に十分に耐え、騒音や振動が増大しない場所です。
- 電源は専用回路を使用し、電源電圧に問題のないことを確認しました。
- 電源コードの中間接続や延長コードの使用、タコ足配線は行っていません。
- コンセントと電源プラグにガタつきはありません。
- 内外接続線の中間接続は行っていません。
- アース線の接続は確実に行いました。
- 壁穴部のシールは確実に行いました。
- 配管接続部のリークテストを行い、冷媒が漏れていないことを確認しました。
- 配管は断熱材でしっかり覆い、テープでシールしました。
- サービスバルブの弁締めは全開にしました。
- 室内機に水を流して、確実に排水されることを確認しました。
- 試運転を行い、冷房・暖房運転が正常であることを確認しました。
- 取扱説明書をもとに、お客様に正しい取扱方法と運転方法を説明しました。

確認日:	年	月	日
確認者:			
工事(施工)会社名:			
問い合わせ先	電話番号:		